データ項目ID		データ項目	グループ			データ型	桁数	コード	繰り返し	データ出力条件	項目定義	項目説明	実装類型
			名称	主キー	外部キー								
012	00588	課税処理保留フラグ	家屋課税情報			X	1			必須	各地方団体において行われている、課税客体に係る情報が不明である等の場合に課税処理を保留する際に設定するフラグ（0：対象外、1：対象）	課税処理保留対象の場合、「対象」とする	◎
012	00589	階層数	家屋課税情報			9	3			任意	居住用超高層建築物の場合における当該部屋の階層		◎
012	00590	タワーマンションの補正区分	家屋課税情報			X	1	999		任意	タワーマンションに適用される補正の区分	各自治体固有のコード利用を想定	◎
012	00591	補正率	家屋課税情報			9V	1,10			任意	階層別専有床面積補正率を管理		◎
012	00592	住居表示	家屋課税情報			N	300			任意	登記所（法務局）が定める地番とは異なる、日本の住居表示に関する法律に基づいて表すこととする当該課税対象の家屋の住所		○
012	00593	他市町村跨りフラグ	家屋課税情報			X	1			任意	当該課税対象の家屋の存在する画地が他市町村に跨っている場合に設定するフラグ（0：対象外、1：対象）	他市町村跨り対象の場合、「対象」とする	○
012	00594	修正予定フラグ	家屋課税情報			X	1			任意	当該課税対象の家屋の情報に修正予定がある場合に設定するフラグ（0：対象外、1：対象）	修正予定がある場合、「対象」とする	○
012	00595	更正決定日	家屋課税情報			DATE	10			任意	家屋課税台帳に係る更正を決定した年月日		○
012	00596	閉鎖区分	家屋課税情報			X	1	050		必須	該当物件が閉鎖（＝滅失）されているかどうかを区別する区分		◎
012	00613	担当者（入力者）	家屋課税情報			N	100			任意	担当者の氏名		○
012	01471	出力除外フラグ	家屋課税情報			X	1			必須	誤入力情報を電子データ出力対象から除外するためのフラグ（0：出力、1：出力除外）		◎
012	01258	削除フラグ	家屋課税情報			X	1			必須	当該データが削除されたかどうかを現すフラグ（0：未削除、1：削除済）		◎
012	00614	操作者ID	家屋課税情報			X	10			必須	操作者を一意に識別するコード		◎
012	00615	操作年月日	家屋課税情報			DATE	10			必須	操作を行った年月日		◎
012	00616	操作時刻	家屋課税情報			TIME	8			必須	操作を行った時刻		◎
012	00617	市区町村コード	家屋メモ管理	○	○	X	6			必須	市区町村を一意に識別するコード（指定都市においては区までを特定）	総務省「全国地方公共団体コード」に従って6桁のコード値を設定すること	◎
012	00619	物件番号	家屋メモ管理	○	○	X	12			必須	資産ごとに付番される固有の番号		◎
012	00620	メモ連番	家屋メモ管理	○		9	8			必須	家屋の物件番号に対してのメモ連番	古いものから昇順でカウントアップ	◎
012	00621	家屋メモ_履歴番号	家屋メモ管理	○		9	8			必須	家屋メモ連番の履歴番号	古いものから昇順でカウントアップ	◎
012	01259	最新フラグ	家屋メモ管理			X	1			必須	当該データが最新かどうかを現すフラグ（0：最新ではない、1：最新である）		◎
012	00618	指定都市_行政区等コード	家屋メモ管理			X	12	999		任意	自治体ごとに定める任意の行政範囲を示すコード	・各自治体固有のコード利用を想定 ・総合支所等、任意の行政範囲を示すコード ・指定都市以外は標準オプション機能	◎
012	00622	家屋メモ	家屋メモ管理			N	2000			必須	家屋の情報に関するメモ		◎
012	01260	削除フラグ	家屋メモ管理			X	1			必須	当該データが削除されたかどうかを現すフラグ（0：未削除、1：削除済）		◎
012	00623	操作者ID	家屋メモ管理			X	10			必須	操作者を一意に識別するコード		◎
012	00624	操作年月日	家屋メモ管理			DATE	10			必須	操作を行った年月日		◎
012	00625	操作時刻	家屋メモ管理			TIME	8			必須	操作を行った時刻		◎